

第 4 編 公 園 編

1 章 公園植栽工

1 章 公園植栽工

- 1.1 公園植栽工
- 1.2 公園除草工

1章 公園植栽工

1.1 公園植栽工

1. 適用

公園の植栽作業及び移植作業に適用する。

2. 数量算出項目

植栽（植樹）、支柱、移植、地被類植付、張芝を区分ごとに算出する。

3. 区分

区分は、樹木の種類、支柱の種類、施工場所とする。

(1) 数量算出項目区分一覧表

| 項目 | 区分 | 3次元モデル | 属性情報 | | | | | |
|--------|----|--------|------|------|------|----------------|----|----|
| | | | 樹木種類 | 支柱種類 | 施工場所 | 単位 | 数量 | 備考 |
| 植栽（植樹） | | B | ○ | × | ○ | 本 | | |
| 支柱 | | B | × | ○ | ○ | 本・m | | |
| 移植 | | B | ○ | × | ○ | 本 | | |
| 地被類植付 | | B | ○ | × | ○ | 鉢 | | |
| 張芝 | | B | ○ | × | × | m ² | | |

3次元モデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

(2) 樹木の種類区分

| | | |
|------------------|----|------------------------|
| 植栽 (植樹) 移植 | 低木 | 樹高 50 cm 未満 |
| | 中木 | 樹高 50 cm 以上 100 cm 未満 |
| | | 樹高 100 cm 以上 200 cm 未満 |
| | | 樹高 200 cm 以上 300 cm 未満 |
| | 高木 | 幹周 15 cm 未満 |
| | | 幹周 15 cm 以上 25 cm 未満 |
| | | 幹周 25 cm 以上 40 cm 未満 |
| | | 幹周 40 cm 以上 60 cm 未満 |
| | | 幹周 60 cm 以上 90 cm 未満 |
| 地被類植付 | 各種 | |
| 張芝 | 各種 | |

- 注) 1. 低木には、株物、一本立ちを含む。
 2. 高木とは樹高3m以上とする。また、幹周とは地際よりの高さ1.2mでの幹の周囲長とし幹が枝分かれ（株立樹木）している場合の幹周は、各々の総和の70%とする。
 3. 土壌改良材を使用する場合は、植栽（植樹）1本当り土壌改良材使用量を算出すること。
 4. 移植の場合は、根巻・幹巻の有無を区分する。また、運搬を伴う場合は、運搬距離（km）を算出する。
 5. 植栽（植樹）及び移植に伴い、客土、埋戻土が別途必要な場合は、その数量を算出する。また、残土の搬出が必要な場合は残土量を算出する。

6. 地被類植付は下記の仕様に適用する。

- 1) ささ類、木草本類、つる性類でコンテナ径12cm以下
- 2) 高さ(長さ)60cm以下の地被類

7. 張芝は、芝種類の他、ベタ張・目地張等の施工方法、及び芝串の有無についても区分する。

なお、目地張を行う場合は、100m²当り芝使用量についても算出する。

(3) 支柱の種類区分

| 項目 | 区分 | 規格・仕様 | 単位 | 備考 |
|----|----|-------------------------------|----|------|
| 支柱 | 中木 | 二脚鳥居 添木付 樹高250cm以上 | 本 | |
| | | 八ッ掛(竹) 樹高100cm以上 | 本 | |
| | | 添柱形(1本形・竹) 樹高100cm以上 | 本 | |
| | | 布掛(竹) 樹高100cm以上 | m | |
| | | 生垣形 樹高100cm以上 | m | |
| | 高木 | 二脚鳥居 添木付 幹周30cm未満 | 本 | |
| | | 二脚鳥居 添木無 幹周20cm以上30cm未満 | 本 | |
| | | 三脚鳥居 幹周30cm以上60cm未満 | 本 | |
| | | 十字鳥居 幹周30cm以上60cm未満 | 本 | |
| | | 二脚鳥居組合せ 幹周40cm以上75cm未満 | 本 | |
| | | 八ッ掛(三脚)(竹) 幹周20cm未満 | 本 | 注) 2 |
| | | 八ッ掛(丸太) L=4m 幹周20cm以上35cm未満 | 本 | |
| | | 八ッ掛(丸太) L=6~7m 幹周30cm以上75cm未満 | 本 | |

注) 1. 単位「本」は、支柱を設置する樹木本数、「m」は、支柱設置延長を算出する。

2. 樹木1本当り竹(支柱材)必要量について算出する。

(4) 施工場所

植栽(植樹)、支柱、移植、地被類植付を日本庭園で施工する場合、区分して算出する。

1.2 公園除草工

1. 適用

公園の除草及び集草、積込・運搬に適用する。
ただし、景観を重視し、かつ除草回数が1回/月を越える場合については適用除外とする。

2. 数量算出項目

公園除草の面積を算出する

3. 区分

区分は、作業内容とする。

(1) 数量算出項目区分一覧表

| 項目 | 区分 | 3次元モデル | 属性情報 | | | | | |
|------|----|--------|------|------|----------------|----|----|----|
| | | | 作業内容 | 施工場所 | 単位 | 単位 | 数量 | 備考 |
| 公園除草 | | B | ○ | ○ | m ² | 本 | | |

3次元モデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

(2) 作業内容区分

除草の面積を作業内容（除草、抜根、集草、積込・運搬）ごとに区分して算出する。

4. 数量算出方法

数量の算出は、「第1編（共通編）1章基本事項」によるほか下記の方法によるものとする。

(1) 除草は施工場所毎に下記の工法に区分して算出する。

除草工法

- 人力除草
- 人力抜根
- 機械除草Ⅰ（肩掛式）
- 機械除草Ⅱ（ハンドガイド式+肩掛式）

(2) 公園外への運搬が必要な場合は、運搬路に応じて、運搬距離（片道）（km）を算出する。

5. 参考

除草工法の選定は、下記を標準とする。

工法の選定フロー

